

JR加古川線WT R5年度施策の実施結果(その他)

資料3

様式2

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
コミュニティバスのルート延伸	西脇市駅から県立西脇高校までのルートを延伸し、高校生等の利用を促進（4月～）	—	ウイング神姫			
【実施状況・反響・改善点等】	本年4月よりルートを延伸し、高校生の通学利用を想定したが、西脇市駅から西脇高校間で渋滞する箇所があり、始業に間に合わない場合があるため、バス利用はほとんどない。悪天候の日など利用はあるが、バスが交通事情により遅延することが多く、大きな鉄道利用者増にはつながっていないため、令和6年度からのバスダイヤを見直した。			●		
駅・周辺の活性化に向けた地域の活動家との連携	谷川駅前でのサン・マルシェの開催、神戸新聞「かなしきデブ猫ちゃん」着ぐるみ列車乗車企画実施等（5/21）	—	サン・マルシェ実行委員会			
【実施状況・反響・改善点等】	神戸新聞社、JR西日本、丹波市の協力により、久下村駅から谷川駅まで着ぐるみによる乗車が可能となり、谷川駅の賑わいの一役となった。乗車の様子が神戸新聞社による記事や動画にも取り上げられ、広くPRすることができた。				●	●
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	駅周辺の賑わい等を生み出す新たな取組を行う事業者等を対象に事業費の一部を補助(補助率1/2、上限200千円)(6月) ①黒田庄駅の外付事業(黒田庄まちづくり協議会) ②使って乗って新発見！加古川線(久下自治振興会)	200千円× 2	西脇市、丹波市、兵庫県			
【実施状況・反響・改善点等】	①黒田庄駅においてレンタサイクル事業を7月10日から実施。フットパスガイドマップや周辺の観光施設と合わせ自転車の活用による鉄道利用促進策を進めている。(32名利用。うち鉄道利用者20名。R6.3月末まで) ②久下自治振興会がウォーキングイベントや鉄道ジオラマ見学ツアー等を実施。また、日本へそ公園で開催されたサーカスへの参加者の電車代補助など、鉄道利用促進や駅周辺のにぎわいづくりに取り組んだ。(54名参加。うち鉄道利用52名)				●	●

JR加古川線WT R5年度施策の実施結果(その他)

資料3

様式2

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
駅舎内お絵かきコーナー	駅に園児等が自由に楽しめるお絵かきコーナー等設置し、人々が集まる賑わいの空間を創出	150千円	北播磨県民局		●	●
【実施状況・反響・改善点等】	リレーマルシェ「黒田庄マルシェ」(2/25)で子どものお絵かきコーナーを設け、そこでの作品を黒田庄駅に掲示し、子どもや親などが集う空間を創出した。(3月)					
JR利用促進観光資源周遊事業	JRの列車時刻に合わせ、西脇市-谷川間の駅を発着点とするハイキング等を実施(11月18日(土))	300千円	西脇市		●	
【実施状況・反響・改善点等】	参加者17名。玉木新雌氏や西脇市の健幸メニューとの連携ほか、工夫して企画したことで参加者からは好評であった。JRを利用しての参加となるため、ICカードが利用できない区間であること等、参加方法の事前説明が必要					
会員企業等へ鉄道利用の呼びかけ	HP等を活用し、会員企業等へ通勤、出張時等での鉄道利用を呼びかけ利用を促進した。	—	西脇商工会議所、丹波市商工会	●		
【実施状況・反響・改善点等】	<ul style="list-style-type: none"> ・総会で会員企業へ鉄道利用促進を呼びかけ ・利用促進ウィークのチラシ、ポスターの掲示等 					
JR西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	沿線でのイベント情報等を、JR西日本アプリ「WESTER」のおでかけ情報に掲載し、誘客を促進(随時)	—	JR・自治体		●	
【実施状況・反響・改善点等】	西脇市のスポット7件を掲載中 丹波市のスポット15件を掲載中					

JR加古川線WT R5年度施策の実施結果(その他)

資料3

様式2

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
沿線行事のPR	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR・自治体		●	
【実施状況・反響・改善点等】	鉄道利用促進に繋がるイベント等、ポスターやチラシの配架依頼があれば可能な範囲で協力					
「JRふれあいイベントだより」を活用したイベントのPR	駅から出発するまちあるきや山歩きのイベントコースを紹介するJRのイベントパンフレットに、西脇市駅からスタートするイベントコースを掲載（7月29日(土)）	—	JR西日本		●	
【実施状況・反響・改善点等】	参加者：36名					
日本のへそ夏まつりにおける鉄道利用促進	パークアンドライドでの鉄道利用を促進するため、駐車場利用者に往復切符を配布（8月26日(土)）	100千円	西脇市		●	
【実施状況・反響・改善点等】	鉄道を利用した参加者:約770名（急な天候不良により電車が運行見合わせとなり、へそ公園駅から西脇市駅までシャトルバスを運行）					
飛び出せ児童館ちよこつと電車でGO～へそ公園へ親子で遠足に行こう!!～	電車を利用した親子交流教室を実施（11月18日(土)）	—	西脇市		●	
【実施状況・反響・改善点等】	参加者：58名（子ども36名、大人22名） 子ども対象にしたイベントで、大人（親）も呼び込む事ができた。					
乗って残そう乗車デー	1日集中乗車デーを設定し、地元住民の鉄道維持への想いを広く訴える。また、西脇市駅、谷川駅にメッセージボードを設置し、地域住民の想いを書き込んでもらう。	—	西脇市、丹波市、兵庫県	●	●	
【実施状況・反響・改善点等】	時期：令和5年10月15日（日） 区間：谷川駅～西脇市駅 利用者数：752名 輸送密度：615名 メッセージ：150枚以上					

JR加古川線WT R5年度施策の実施結果(その他)

資料3

様式2

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
イベント連携乗車デー	沿線イベントに合わせて、沿線の小中学生やその家族をターゲットに、鉄道と恐竜のコラボ企画を実施することにより、鉄道の日常利用の啓発を図る。	150千円	西脇市、丹波市、兵庫県、丹波県民局		●	
【実施状況・反響・改善点等】	時期：令和5年10月22日（日） 場所：日本へそ公園駅 内容：出張化石発掘体験会 参加者：40名 うち26名鉄道利用 駅降車人数：67名					
2次交通の活用 (次世代モビリティ)	イベント連携乗車デー開催時に、来客者に対し、最寄駅の日本へそ公園駅から道の駅のまつり会場までの輸送手段として、グリーンスローモビリティ等での移動を提供し、鉄道利用者の増加に繋げる。	600千円	兵庫県	●	●	
【実施状況・反響・改善点等】	時期：令和5年10月22日（日） 場所：日本へそ公園駅と道の駅北はりま田園空間博物館(でんくうまつり会場)の往復利用者数：47名					
沿線スポットオフィス	県庁舎以外の施設を活用したスポットオフィスを期間限定で設置。	20千円 (Wi-Fiの別代)	兵庫県	●		
【実施状況・反響・改善点等】	時期：令和5年8月1日～31日 場所：丹波市立やまなみホール 累計利用者：77人					

JR加古川線WT R5年度施策の実施結果(その他)

資料3

様式2

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
<参考：JRの取組>						
ひょうご☆乗り放題パス (兵庫DC)	兵庫県内のJR自由周遊区間内の特急列車の普通車指定席6回(新幹線除く)・普通列車が乗り放題となるきっぷを発売、夢但馬周遊バス「たじまわる」、神戸市営地下鉄「新神戸～三宮」の往復乗車券と兵庫県内JR駅構内のおみやげ店舗やコンビニで利用できるクーポンがセット(7/1～10/2)	—	J R 西日本		●	
【実施状況・反響・改善点等】	乗り放題パス発売、駅構内でのPR、インターネット・新聞広告等					
特別ヘッドマーク掲出 (兵庫DC)	兵庫DCを記念して、加古川線の一部列車に兵庫DC特別ヘッドマークを掲出して運行(7/1～9/30)	—	J R 西日本		●	
【実施状況・反響・改善点等】	兵庫DC特別ヘッドマークを掲出して運行					
車内中吊りポスターを掲出 (兵庫DC)	車内中吊りポスターの掲出(7/1～9/30)	—	J R 西日本		●	
【実施状況・反響・改善点等】	加古川線内の車内中吊りに、地域の魅力や特産品の紹介ポスター掲出(播州織、日本へそ公園、丹波焼、明石焼、城崎温泉等々)					
鉄道の日 記念イベント in Kakogawa	「鉄道の日」を記念して、各種イベントを開催(10月14日(土))	—	J R 西日本		●	
【実施状況・反響・改善点等】	WESTER・モバイルICOCAの紹介、鉄道模型走行、子供制服撮影コーナー、輪投げコーナー					

JR加古川線WT R5年度施策の実施結果(その他)

資料3

様式2

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
<参考：全県的取組>						
鉄道の利便性向上に向けた取組	学生等の日常利用や観光での利用が見込まれるサイクルトレインや、対象路線で未整備となっているキャッシュレス決済の導入に向けた調査・検討を実施	5,000千円	兵庫県	●	●	
【実施状況・反響・改善点等】	先行事例事業者へのヒアリング結果を取りまとめた。					
<参考：JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会事業>						
列車内鉄道絵画展	加古川線等沿線地域の園児・児童を対象に列車や駅をテーマにした絵画を募集し列車内絵画展を開催	協議会予算の範囲内	交通事業者、商工会議所、商工会、市町、県ほか		●	
【実施状況・反響・改善点等】	応募913点(うちJR316点)、入賞者15名 鉄道事業者の協力のもと、列車内に作品を展示し、本人、家族等への鉄道利用が図られた。					
鉄道利用促進事業	西脇市ー谷川間の駅を発着点とするハイキングイベントを実施	協議会予算の範囲内	交通事業者、商工会議所、商工会、市町、県ほか		●	
【実施状況・反響・改善点等】	日本へそ公園駅、本黒田駅スタートの2コースで10月14日に開催。参加者50名。行程に電車利用区間を設けた。開催後のアンケートでは、参加者の8割以上の方から、今後北播磨・丹波に来る際は、加古川線を利用したいとの回答を得た。					
鉄道沿線ガイドの作成	鉄道沿線で開催されるイベント等の魅力情報を掲載したガイドの発行	協議会予算の範囲内	交通事業者、商工会議所、商工会、市町、県ほか		●	
【実施状況・反響・改善点等】	発行年4回(季刊)					
<参考：丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会>						
モバイルスタンプラリー	JR久下村駅や丹波竜化石工房ちーたんの館などJR加古川線沿線等も含め、丹波市、丹波篠山市内でモバイルスタンプラリーを実施(10/14~11/26)	1,250千円	自治体、商工会、観光協会、民間団体等		●	
【実施状況・反響・改善点等】	ラリー参加者：2,129名 総スタンプ数：7,403個(うちJR久下村駅412個、ちーたんの館745個)					